

チャ

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	赤焼病	網もち病	白星病	新梢枯死症	炭疽病	もち病	輪斑病	灰色かび病	黒葉腐病	白紋羽病	褐色円星病
I Cボルドー66DFL	M1		*a	-	◎				◎						
Zボルドー水	M1		7	-	◎	◎			◎	◎					
クプロシールドFL	M1		1	-	◎	◎			◎	◎					
コサイド3000DF	M1		14	-	◎	◎		輪	◎	◎					◎
サンボルドー水	M1		21	-	◎				◎	◎					
ドイツボルドーA水	M1		14	-	◎	◎			◎	◎					
スターナ水	31		7	2	◎										
トップジンM水㊟	1		7	1			◎		◎		◎		◎		◎
ベンレート水㊟	1		14	1			◎		◎		◎				◎
			-	1										根	
アミスター20FL	11		14	3				輪	◎	◎	◎				
スクレアFL	11		3	3		◎		◎	◎	◎	◎				
ストロビーFL	11		10	3		◎		◎	◎	◎	◎				
フリントFL25	11		14	2				◎	◎	◎	◎				◎
フロンサイドSC	29		14	1		◎		輪	◎	◎	◎	◎			◎
ロブラール水	2		21	2								◎			
インダーFL	3		7	2		◎			◎	◎					◎
オンリーワンFL	3		7	2		◎		◎	◎	◎					◎
スコア顆水	3		7	2		◎			◎	◎					◎
トリフミン水	3		14	3					◎	◎					
ラリー水	3		14	2		◎			◎	◎					
テプロスFL	U16		14	2				◎	◎		◎				
ダコニール1000FL	M5		10	1		◎		輪	◎	◎	◎	◎	◎		◎
ベルクートFL	M7		7	2				◎	◎		◎				
スパットサイド水	M11		7	2					◎	◎	◎				
ニマイパー水㊟	1・10		14	1				◎	◎	◎	◎				◎
ナリアWDG	7・11		7	2		◎		◎	◎	◎	◎		◎		◎
カスミンボルドー水	24・M1		14	2	◎			輪	◎		◎				◎

㊟：チオファネートメチル含有剤 ◎：ベノミル含有剤 ㊟を使用した場合には同じ作での◎は使用しないこと、その逆も同様（種子への処理および塗布処理を除く、詳細はP.856参照）。

*a:最終摘採後

輪:新梢枯死症(輪斑病菌による) 根:苗木根部24時間浸漬

チャ

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	コ	チ	カ	ツ	ツ	チ	ハ	ミ	ニ	チ	チ	チ	チ	ナ	マ	チ	ハ	チ	チ	
					ミ	ヤ	イ	ワ	マ	ス	ト	ヤ	ヤ	ヤ	ガ	ラ	ヤ	ダ	ラ	ミ	ダ	チ	チ	チ
除虫菊乳3	3A		10	3										◎		◎	シ							
スピノエースFL	5		7	2	◎									◎	◎	◎	◎	◎	◎					
ミルベノック乳	6		7	1	◎					◎							◎						カ	◎◎
エスマルクDF	11A		*k	-										◎	◎	◎	◎							
チューンアップ顆水	11A		*i	-										◎	◎	◎	◎							
デルフィン顆水	11A		*i	-										◎	◎		◎							
トアロー水CT	11A		*k	-												◎	◎							
バシレックス水	11A		*k	-										◎	◎	◎	◎	シ						
ハマキ天敵水	31		*i	-										◎	◎									
石灰硫黄合剤	UN		*o	-																			◎	サ
スプレーオイル乳	UNM		*a	-				◎															◎	
			*c	-				◎		◎														◎
ハーベストオイル乳	UNM		*e	-				◎		◎														
			*m	-																				カ
ラビサンスプレー乳	UNM		*e	-				◎		◎														◎
サンクリスタル乳	-		1	-													◎						カ	◎
ハマキコン-N	-		*h	-												◎	◎							
オリオン水40	1A	劇	14	3												◎								
エルサン乳	1B	劇	*n	2				◎						◎		コ								
エンセダン乳	1B		*f	1	◎									◎	◎	◎	◎			◎	カ		◎	
オルトラン水	1B		45	1	◎											◎				◎				
カルホス乳	1B	劇	21	1				◎								コ	◎	◎						◎
			21	1					◎		◎						コ		成					
スミチオン乳70	1B		90	1																幼				
キラップFL	2B		7	1	◎			◎									◎							
アディオン乳	3A		14	1	◎											◎	◎						◎	
アーデント水	3A		14	3	◎											◎	◎			◎	カ			
アーデントFL	3A		14	3	◎											◎	◎			◎	カ			
スカウトFL	3A	劇	7	3												◎				◎				

チ
ヤ

チャ

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	コ	チ	カ	ツ	ツ	チ	ハ	ミ	ニ	チ	チ	チ	ヨ	ナ	マ	チ	ハ	チ		
					ミ	ヤ	イ	ワ	マ	ス	ト	ト	ヤ	ノ	コ	モ	ガ	ダ	ラ	ノ	ダ	カ	ノ	ハ
テルスター水	3A		14	2	◎										◎	◎	◎					◎	カ	
トレボン乳	3A		21	2	◎												◎						◎	
マブリック水20	3A	劇	21	2	◎	◎			◎							◎	◎	◎					◎	カ
ロディー乳	3A	劇	7	1	◎				◎	◎					◎	◎	◎	◎					◎	
アクタラ顆溶	4A		7	1	◎	◎			◎														◎	◎
アドマイヤー水	4A	劇	7	1	◎												◎						◎	
アルバリン顆溶 スタークル顆溶	4A		7	2	◎	◎			◎								◎						◎	
ダントツ溶	4A		7	1	◎	◎			◎	◎							◎						◎	◎
バリアード顆水	4A	劇	7	1	◎	◎											◎						◎	◎
ベストガード溶	4A		7	2	◎																		◎	
モスピラン顆水	4A	劇	14	1	◎												◎						◎	
ディアナSC	5		1	1	◎				◎			◎		◎	◎	◎	◎							
アグリメック乳	6	劇	7	1	◎				◎							◎	◎						◎	カ
アフーム乳	6		7	1	◎					◎					◎	◎	◎	◎						◎
コルト顆水	9B		7	2	ア	◎		◎	◎	◎													◎	◎
バロックFL	10B		14	1																				カ
オマイト乳	12C		14	2																				カ
コテツFL	13	劇	7	2	◎				◎							◎		シ					◎	◎
バダンSG溶	14	劇	10	1	◎												◎						◎	
アタブロン乳	15		14	2												◎	◎		◎					
カスケード乳	15		7	2	◎				◎	◎						◎	◎	◎	◎				◎	◎
ノーモルト乳	15		7	1													◎	◎						
マッチ乳	15		7	1	◎											◎	◎	◎	◎					
アブロード水	16		14	2					若	◎														幼
ファルコンFL	18		7	2							◎					◎	◎	◎	◎					
マトリックFL	18		7	2												◎	◎	◎	◎					
ロムダンFL	18		14	2												◎	◎	◎	◎					
カネマイトFL	20B		7	1																				カ

チ
ヤ

チャ

薬剤名	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	コ ミ カ ン ア ブ ラ ム シ	カ イ ガ ラ ム シ	カ イ ガ ラ ム シ	ク ワ シ ロ カ イ ガ ラ ム シ	ツ マ グ ロ ア オ カ ス ミ カ メ	チ ャ ト ゲ コ ナ ジ ラ ミ	ハ ス モ ノ ガ ノ	ニ ト ベ ミ ノ	チ ャ ヤ ド ク	チ ャ コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ャ コ カ ク モ ン ハ マ キ	ヨ モ ギ エ ダ シ ヤ ク	ナ ガ チ ヤ コ ガ ネ	マ ダ ラ カ サ ハ ラ ハ ム シ	チ ャ ノ ミ ド リ ヒ メ ヨ コ バ イ	ハ ダ ノ ナ ガ サ ビ ダ ニ	チ ャ ノ ホ コ リ ダ ニ	
マイトコーネFL	20D		*j	1																	カ	◎
サンマイトFL	21A	劇	14	2	◎														◎	カ	◎	◎
ダニトロンFL	21A		7	2			◎									◎			◎	カ		◎
ハチハチ乳	21A	劇	14	1	◎				◎	◎						◎			◎	◎	◎	◎
ピラニカEW	21A	劇	21	1	◎														◎	カ		
ダニゲッターFL	23		7	1						◎										カ	◎	◎
ダニサラバFL	25A		7	2																カ		
ダニコングFL	25B		7	1																カ		
エグシレルSE	28		7	1	◎	◎				◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
サムコルFL10	28		3	1						◎			◎	◎	◎	◎						
テッパン液	28		3	1	◎			◎					◎	◎	◎	◎	成	◎	◎			
フェニックスFL	28		7	1						◎	◎		◎	◎	◎	◎	シ					
ヨーバルFL	28		7	1	◎								◎	◎	◎	◎	成	◎	◎			
ウララDF	29		7	1	◎	◎			◎	◎										◎		
グレーシア乳	30		14	1	◎					◎			◎	◎	◎	◎		◎	◎		サ	◎
ダニオーテFL	33		14	1																カ		
粘着くん液	-		1	-																カ		
フロンサイドSC	-		14	1																		◎
ベミデタッチ乳	-		7	-																◎		
アブロードエースFL	21A・16		14	2		◎	◎	◎		◎						◎				◎		◎

*a:5~9月 *b:最終摘採後~12月まで *c:10~3月
 *e:5~9月、10~3月 *f:最終摘採後~萌芽前(但し摘採60日前まで)
 *h:成虫発生初期~終期 *i:発生初期(但し摘採前日まで)
 *j:摘採14日前まで(但し遮光する栽培では遮光開始14日前まで)
 *k:発生初期(但し摘採7日前まで) *m:発芽前又は摘採直後
 *n:最終摘採後~冬期まで
 *o:夏期、冬期
 ア:アブラムシ類 カ:カンザワハダニ
 コ:コカクモンハマキ(チャノコカクモンハマキの旧名称)
 サ:サビダニ類 シ:シャクトリムシ類
 若:若齢幼虫 成:成虫 幼:幼虫

チ
ヤ

チャ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
炭疽病、 もち病、 網もち病	5～7月 9～10月	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 オンリーワンフロアブル#1 2000～3000倍 スコア顆粒水和剤 2000倍 ダコニール1000#2 1000倍 Zボルドー(水)#3 400～500倍 ストロビーフロアブル#4 2000倍 フロンサイドSC 2000倍 	炭疽病は、雨の多い年や日照の少ない樹陰地の茶に発生が多い。 #1 網もち病 2000倍 #2 炭疽病、もち病 700～1000倍 #3 炭疽病 400倍 #4 炭疽病 2000～3000倍
ツマグロ アオカス ミカメ	5月上旬～ 7月下旬	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 ロディー乳剤 1000倍 アクタラ顆粒水溶剤 3000倍 	防除は萌芽期から1葉期までに行う。
チャドク ガ(チャケ ムシ)	5～11月	<ul style="list-style-type: none"> 1. 若齢幼虫中に捕殺する。 2. 最終摘採後から冬期までに散布する。 エルサン乳剤 1000倍 	チャドクガの幼虫は、5～6月及び7～8月に発生する。
チャハマ キ、チャ ノコカク モンハマ キ	4月下旬～ 5月上旬 (一番茶前) 6月中旬～ 7月上旬 (二番茶前) 7月下旬～ 8月中旬 (二番茶後) 9月上旬～ 10月中旬	<ul style="list-style-type: none"> 1. 成虫密度を下げたからハマキコン-Nを150～250本/10a処理すると効果がある。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 エスマルクDF 1000倍 カスケード乳剤 4000倍 グレイシア乳剤 2000倍 コテツフロアブル# 2000倍 スピノエースフロアブル チャハマキ 4000倍 チャノコカクモンハマキ 2000～4000倍 フェニックスフロアブル 2000倍 ヨーバルフロアブル 2500～5000倍 	二番茶葉に被害が多い。 幼虫が葉裏の表皮下に潜入している時期に防除する。 #チャノコカクモンハマキのみに登録
チャノホ ソガ(チャ ノサンカ クハマキ)	4月上旬～ 下旬 5月下旬～ 6月中旬 7月上旬～ 下旬 8月上旬～ 下旬 9月中旬～ 10月上旬	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 カスケード乳剤 4000倍 ミルベノック乳剤 1000倍 ダントツ水溶剤 2000～4000倍 アドマイヤー水和剤 2000倍 ヨーバルフロアブル 2500～5000倍 	

チ
ヤ

チャ

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
チャノミ ドリヒメ ヨコバイ	6月上旬～ 10月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アクトラ顆粒水溶剤 2000～3000倍 アディオン乳剤 2000～3000倍 コテツフロアブル 2000倍 ヨーバルフロアブル 2500倍	二、三番茶期の芽に被害が多い。
ナガチャ コガネ幼虫	10月中旬 ～11月中旬	・被害発生部にスミチオン乳剤70を土壌灌注する(2000～4000倍、1㎡あたり5L)。	6～7月に出現した成虫は、土中に産卵。幼虫が根を食い翌年の一番茶が減収する。
クワシロ カイガラ ムシ	5月中旬～ 下旬 7月中旬～ 下旬 秋冬期 (10～3月)	・次の薬剤のいずれかを散布する。 コルト顆粒水和剤 2000～3000倍 アブロードエースフロアブル#1 1000倍 ・ハーベストオイル 50～100倍	幼虫ふ化期に防除する。ふ化後の幼虫は小さく見つけにくい。5月中旬頃カイガラをはがして卵～幼虫がこぼれてくる状態から孵化最盛期となる。 #1 カイガラムシ類での登録
カンザワ ハダニ	秋冬期～春 期発芽前又 は摘採直後 3月中旬～ 下旬(萌芽 前) 5月下旬～ 6月中旬 (一番茶摘 採直後) 8月上旬～ 11月上旬	・ハーベストオイル 50～150倍 ・次の薬剤のいずれかを散布する。 カネマイトフロアブル 1000倍 ダニオーテフロアブル 2000倍 ダニゲッターフロアブル 2000倍 ダニサラバフロアブル 1000～2000倍 マイトコーネフロアブル 1000倍 ミルベノック乳剤 1000倍 バロックフロアブル 1000～3000倍	かぶせ茶園では必ず防除を行う。晩霜害のあった場合は多発しやすいので、殺ダニ剤による防除を励行する。殺ダニ剤は、みる芽につくと薬害が生ずることがある。
チャノナ ガサビダ ニ	4～6月 9～11月	・次の薬剤のいずれかを散布する。 サンマイトフロアブル 1000～2000倍 ミルベノック乳剤 1000倍	一番茶摘採後に発生が多い。

チ

ヤ